

## 029 推量を表す表現(1)

### Question!

[正解に  チェック]

日本文にぴったりの英文はどちらでしょうか？

「彼の奥さんは年末に出産の予定です」

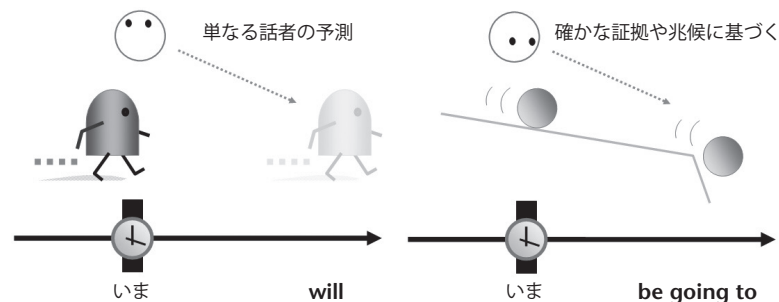
- His wife will have a baby at the end of this year.
- His wife is going to have a baby at the end of this year.

### be going toは証拠や兆候に基づく話者の予測

**will**は一般に、話者自身の判断を表すと解釈できます。ですから、1人称を主語にする場合は**I will do it.** (私がやります)のように自身の「意思」を表し、2人称を主語とした疑問文では「相手の意思を尋ねる」ことになり、また**Will you do me a favor?** (お願いがあるのですが)のように「依頼」の意味にもなります。3人称を主語に使う場合には**It will rain tomorrow.** (明日は雨が降るでしょう)のように「話者の判断」、すなわち話者が考える「推測・予測」を表すと理解することができます。

1人称を主語にしたとき、話者の「意思」を表す**will**と**be going to**の違いは、**will**がその場での意思決定であるのに対して**be going to**は予め決定されている意思を表すところにあると、前に説明しました。それと同じように、3人称に使われる**will**と**be going to**にもはっきりとした違いがあります。それは、**will**が話者による単なる未

来の予測を表すだけなのに対して、**be going to**は現在の確かな証拠や兆候に基づいた話者の予測を表すという点です。



「明日天気になあれ」と言いながら下駄やサンダルを宙に投げるような、こんな当てずっぽうの時の予測は**will**で表します。一方、漁師が西の空模様や湿気などを肌で感じながら長年の経験に基づいて下した予測は**be going to**で表します。ですから、雨雲が発生したために辺りが急に暗くなり、今にも一雨来そうな時には**It will rain at any moment.**ではなく、**It is going to rain at any moment.**「すぐにも雨が降るぞ」と言います。ちなみに天気予報では**It will rain tomorrow.**などというのが普通です。

上記質問文の「彼の奥さんは年末に出産の予定です」は、現在妊娠中であるという確かな証拠や兆候に基づいた予測ですから**be going to**を選ぶわけです。これを**His wife will have a baby at the end of this year.**としたら、占い師の単なる予言としての発言が勝手な見込みのようになってしまいます。

109

# eachとeveryの違いは?

## Question!

[正解に☑チェック]

日本文にぴったりの英文はどちらでしょうか?

彼は乗客全員の安全に責任を負っている。

- He is responsible for each passenger's safety.
- He is responsible for every passenger's safety.

### every=ever + eachで「各々+全体まるごと」

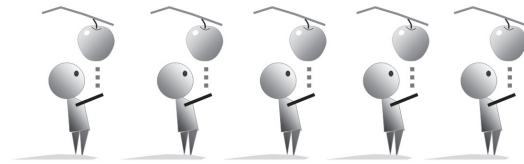
語源を調べてみると、every=ever+eachとありました。ということではeveryとeachは意味が似ていて当然です。

ここで、everという単語、意味をとるのが難しいです。英英辞典で調べると、at any timeとかalwaysとあります。つまり、時間的な広がりを持つ意味なのです。時間的には「はじからはじまで」。訳語としては、習慣なら「いつだって」、経験なら「今まで」とか、否定的に言うときには「こんりんざい」という感じでしょう。(neverの項参照)

everにはそんな「まるごと」「はじからはじまで」の意味があります。ですからeachに、everのその「まるごと」の感覚が加わったものがeveryと考えると理解しやすいです。

eachは「個々」「各々」(one by one)。ひとつひとつをおのおの分けて扱う感じです。

each

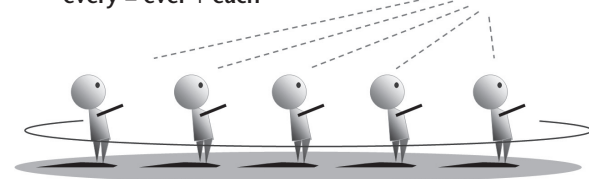


- (1) Each member is given a particular job to do.  
「メンバーにはそれぞれ特定の仕事が与えられる」
- (2) Children get two cookies each.  
「子供たちはそれぞれにクッキーを2つずつもらえる」

対してeveryはeachと同じように「個」なのですが、そのeachの「各々」にeverの「はじからはじまで」「まるごと」の意味が加わって、「各々」の意味を残しながら「集団全体」を意識した表現になっています。上記質問文のように「全体」の意味を含む場合はeveryを使います。

- (3) He is responsible for every passenger's safety.  
「彼は乗客ひとりひとり全員の安全に責任を持っている」

every = ever + each



- (4) Every bag was thoroughly checked.  
「かばんは全てひとつずつ入念にチェックされた」
- (5) I listened carefully to every word he said.  
「彼のことばをひとつひとつ注意して聴いた」
- (6) He knows every inch of this city.  
「彼はこの街の隅から隅までぜんぶ知っている」